

和光の緑と湧き水だより Verda 130号

NPO法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2013年7月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)
身近な自然を知り親しみ守ろう <http://wako-wakimizu.org/>
 会の活動スケジュール表(予定の所は変更もあります。問合せ下さい) (048-462-9912 高橋)

25年	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森(地域の会と協力して)	樹林公園
7月	14日 モニタリング調査講習会・横浜 浦和植生調査報告会 20日以降 環境ボランティア	1日, 3日七夕用竹 20日 保全	4日湧水・植物相調査 16日大坂ふれあいの森	9日 ドングリの森 保全・モニタリング調査
8月	18日 キツネノカミソリ観察会 (ふれあい街道道しるべに協力) 19日 和光市教師研修会・講師 湧き水の会日光研修会 (別紙)	17日 (予定) 竹 林、貴重種保全 (変更有)	8日 (予定) 湧水・植物相モニタリング 22日 (予定) 大坂保全	モニタリング調査

1. 身近な水環境の全国一斉調査 及び 環境省モニタリング調査里地



新河岸川水系の水環境調査に今年も参加し、6月2日に白子湧水群の5か所指定し、熊野神社、富沢湧水、大坂ふれあいの森、白子の滝の4か所を一斉に調査を行った。白子川水辺再生地だけは封鎖中のため、別の日に鍵を借りてきて行いました。
 今年度から環境省モニタリング1000里地調査で水環境とその関連の植物相調査をスタートしました。当会では一般サイトとして白子湧水群 富沢湧水および大坂ふれあいの森を、全国のモニタリング調査に合わせて、行っていきます。



2.1 第4小学校・5年生林間学校の観察会の練習授業(6月19日) (学校応援団)



今年から第4小学校の学校応援団として活動します。5年生は夏休みに林間学校で、湯の丸高原と池の平で素晴らしい自然を体験しますが、その前に早速授業として、学校内で現地に行って役立つ自然観察を行いました。自然観察に大切な、不思議を探そう、どうしてなのか考えよう、ということテーマに、クラス別3クラスに行いました。観察会のガイドとして湧き水の会の会員4名があたりました。生徒たちは、校庭にもびっくりするような自然を発見し、学校へ来るのがますます楽しくなったようで、林間学校の準備にも力が入る様子です。

2.2 第4小・4年生和光の環境学習「くらしと水」(6月26日) (学校応援団)

4年生の環境学習「くらしと水」の中で、和光市の特徴的な湧き水のある自然環境やくらしについて、パワーポイントを活用して、3クラス100名に図書室で授業をしました。武蔵野台地の地層、湧き水の仕組みや、湧水と斜面林が一体となった環境に住む生き物たちなどを画像を使って紹介しました。「湧き水があって、生き物がすんでいるところがあるんだね」といった驚きで皆さん聞いていました。生き物にやさしくしよう、貴重な野草は大切にしようということを伝えました。大坂ふれあいの森のガイドマップを全員に配布し、役立っています。



3. 広まっています・新倉ふれあいの森の竹の活用

市内の学校や児童センター、児童館、放課後の学童教室等で、七夕用の竹材が大変多く活用されてきました。竹材準備は7月初めの重要な事業になってきました。今後は準備に参加お願いします。